

事業戦略：物流・冷熱・ドライブシステム



新AGFコンセプト機「SynX-Vehicle」

現状認識

強み S	幅広い製品分野で培ったノウハウとリソースのドメイン内での有効活用	
	物流機器	● 港湾からウェアハウスまで一貫して提供できる製品ラインアップと充実した販売網
	冷熱・カーエアコン	● 豊富な製品ラインアップと世界トップレベルのエネルギー環境技術
	ターボチャージャ	● 高速回転、熱・流体力学の技術を活かした高性能・高品質の製品開発力
	エンジン	● 水素等新燃料への対応力
弱み W	短期的な景気動向に左右される事業が比較的多い	
	ターボチャージャ	● 単一製品に特化した事業であり顧客景況により大きく影響を受ける
機会 O	物流機器	● eコマース拡大に伴う物流ソリューション市場の拡大
	冷熱・カーエアコン	● 環境・省エネ規制に対応した製品の市場拡大
	ターボチャージャ	● 電動化への移行期におけるHV車へのターボ搭載増加、およびその後のターボチャージャ技術を応用した新製品の需要拡大
	エンジン	● データセンター市場の拡大および東南アジアにおけるガス分散型電源市場の拡大
脅威 T	米中貿易摩擦、新型コロナウイルスによる景況への悪影響	
	ターボチャージャ	● EVの拡大急速化に伴う中長期的な市場縮小
	エンジン	● エナジートランジションによるディーゼル・ガスエンジンの中長期的な需要縮小

2021年度の概況と2021事業計画における重点戦略

新型コロナウイルス感染症の影響から回復した物流機器や冷熱製品が増加したことなどにより、連結受注高は、前年度を上回る9,923億円となりました。売上収益は、物流機器や冷熱製品、エンジンが増加したことなどにより、前年度を上回る9,865億円となりました。事業利益は、材料費・物流費の高騰や半導体不足に伴う自動車メーカーの生産調整の影響を受けたものの、全体的な増収に伴う利益の増加等により、前年度を上回る306億円となりました。

2019年度下期から新型コロナウイルスが猛威を振るい、物流・冷熱・ドライブシステムドメイン全体が影響を受けましたが、2020年度第1四半期を底として売上収益は回復傾向となりました。また、固定費最適化等の対策を早

期に実行したため、事業利益への影響も最小限に抑制しています。

2021事業計画において、物流機器は自動化・無人化分野、冷熱は省エネ・環境対応で、市場が拡大しており、成長事業と位置づけています。エンジンは、拡大が期待されるデータセンター向けバックアップ発電機と、ガス分散型電源設備に注力しています。また、ターボチャージャは、現行エンジン車およびハイブリッド車向け拡販と、電動化に対応した製品開発を加速、カーエアコンは、電動化車両の市場拡大の中、EV用電動コンプレッサ等に注力しています。

2021事業計画における事業施策

全般	中量産品は2021年度にはコロナ前のレベルに回復し、以降堅調な市場拡大を見込んでいる。固締りな体制を維持しつつ、拡大に向けた対応を実施
物流機器	● エンジニアリングとソリューション事業で成長戦略を推進 ● 販売戦略強化（販売網再編、新機種投入）
冷熱・カーエアコン	● 各地域ニーズに合った商品ラインアップの拡充によるBtoB分野の拡大 ● 販売強化（代理店の直営化ほか） ● 低環境負荷対応製品の拡充
ターボチャージャ	● 固定費最適化により、需要変動に柔軟に対応し安定した利益を創出 ● 電動化に対応した新製品の開発加速
エンジン	● 中大型主力製品へのリソース集中 ● 有望分野対応推進（データセンター向け、東南アジア向けガス分散型等） ● 水素（混焼・専焼）エンジン開発